

編集後記

前号より新たに二つのコーナーが設けられました。その一つである「卒業後の私」(38～39頁)では、平成24年度大分県教員採用選考試験を突破された藤本さん、続けて平成24年度福岡市教員採用選考試験を突破された奥本さんの2名に登場していただきました。平成24年4月より藤本さんは高等学校に、奥本さんは小学校にそれぞれ勤務されます。このように、本学で教職課程を履修し、卒業後に本採用となったり臨時的任用教員となったりして教育界で活躍されている方は、数多くいらっしゃいます。

一方、教育実習を終えた学生を対象としたアンケートの実施は、平成23年度で5回目となりました。まとめ(33頁)では、今回の結果もこれまでの結果と同じように肯定的な回答の割合が高いことが指摘されています。

本冊子を手にした皆さんは、是非とも内容を熟読し、教職課程に関する指導等がある場合には、かならず持参してください。

「教職への道」は、決して平坦ではありません。在学中に目標を定めて学びを継続して深め、同時に多くの経験を積んで視野を広げ、この道を着実に歩んでいきましょう。数多くの様々な困難に打ち克つ若い力を、学校教育は求めています。

文学部教職課程 今井 航

教職への道 No.32 (2012)

発行日 平成24年3月31日

編集者・発行者

大分県別府市北石垣82

別府大学教職課程委員会

代表者 川瀬 泰治

印刷所 (株)クリエイツ
